



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 久野 峯一
 幹事 萩原 喜代子
 広報・会報委員長 牧野 登志子

No. 30

夢をかたちに Make Dreams Real

2008~2009年度 RI会長 李東建

きょうの例会
 第1264回 平成21年 3月17日(火)
講演 “パンの歴史”
 敷島製パン(株) 製品開発部マネージャー
 丸橋 典明様 (紹介 鈴木聖三君)

先週の記録
 第1263回 平成21年 3月10日(火) 晴
優良職員表彰
 愛知県千種警察署・名古屋市千種消防署

◆“それでこそロータリー”

◆ゲスト紹介

愛知県千種警察署	署長	都築 豊賞様
〃 駐車対策係	巡査部長	山本 邦夫様
〃 地域第2係	巡査部長	平野 義幸様
名古屋市千種消防署	署長	川島 徹雄様
〃 消防第一課	消防係長	永田 眞士様

◆出席報告

会員	50 (46) 名	出席	39名
出席率	84.78 %		
前々回	2月25日 (修正出席率)		100 %

久野会長挨拶

3月12日の奈良の二月堂お水取りも間近となり、寒さもずいぶん緩でまいりました。

今日はゲストとして愛知県千種警察署から都築豊賞署長、山本邦夫様、平野義幸様と名古屋市千種消防署から川島徹雄署長、永田眞士様、よくおいで頂きました。のち程、優良職員として各署2名の方を表彰させていただきます。

会員の皆様方は、この3月7日が消防記念日であったことをご存じでしょうか。関係のある消防・警察の方を前に話すのは僭越ではありますが、少しお話しをしたいと思います。

昭和23年3月7日に現行の消防組織法が施行され従来の警察所管から自治体消防として独立されました。この日を記念して消防記念日されています。

何はともあれ警察・消防は、国民の生命、身体及び

財産を守るため日夜努力していただいています。今日ここにそのことを認識し感謝をしたいと思います。

優良職員表彰(警察・消防)



◆都築愛知県千種警察署長挨拶



本日は、「警察の抱える課題と警察署長としてのリーダーシップのあり方」といった内容で私なりにお話をさせていただきますと思います。

まず、警察の抱える課題の第1は、「体感治安を悪化させている犯罪の増加について」であります。

昨年の犯罪発生につきましては、全国が平均15年から6年連続して減少したのに反し、愛知県は平成16年から4年連続の減少にとどまってしまいました。

特に県民の皆様方の最も身近で発生するひったくり、路上強盗など検挙しなければ発生を抑止できない犯罪については、素早い立ち上がりにより現場検挙を図り、県民の体感治安の回復につなげていきたいと考えております。

第2は、「組織犯罪対策」であります。

暴力団については、山口組の寡占化が顕著であり、特に愛知県に本拠を構える弘道会から山口組六代目組長を輩出したことから、全国警察一丸となって山口組弘道会に対する集中取締りを実施し、暴力団組織の根絶を図って参ります。

第3は、「交通事故抑止対策」であります。

交通事故死者数は昨年県下で276人と前年より減少

したわけでありませんが、4年連続して全国ワースト1という不名誉な結果となってしまいました。

特に高齢者の死者が多いことから、高齢者世帯を訪問し家族を巻き込んだ交通安全活動を推進するとともに、実勢速度が速い現状を捉え、信号機による制御、歩者分離式交差点の拡充による歩行者の安全確保を図るなど、従来の交通違反の取締りに加え、総合的な施策の推進を図ることが急務であると考えています。

次に、警察内部にもクリアしていかなければならない課題があります。

その第1は、「若手警察官の早期戦力化」であります。

警察本部に若手育成推進室を設置して組織的に若手警察官の育成に取り組んでいるところであり、伝承教養をはじめ、特にIT犯罪にも対応できる人材の育成を図るため各種研修に積極的に参加させるなど、組織の強化を図っています。

第2は、発生が予測されている東海地震、地下鉄駅構内等における化学物質を使用したテロ事件などの突発事案発生時における「危機管理対策」です。

私自身これまでに経験がなく、実際どのように対処でき、市民の方々の始め署員に至るまで早期に安全な状態にできるか、常に想定しながらシュミレーションをしています。

警察署長としましては、常に新鮮な頭脳で的確に指揮し、組織を引っ張り職責を全うして参りたいと考えております。

◆山本駐車対策係巡查部長挨拶

本日は、栄えある賞をいただきまして、ありがとうございます。受賞できましたのは、ひとえに上司や同僚そして千種区の皆様のお陰と心から感謝致しております。

私は、警察官を拝命し今年でちょうど30年目になります。その内交通警察を22年担当し、取締係・事故捜査係・駐車対策係と多くを体験してきました。その間ずっと心掛けてきたことがあります。それは、機会教養としての一口教養です。交通事故の現状や事故形態や事故の原因などその時々にあわせ話そう努めてきました。交通事故を無くすには、一人の力、また警察だけの力では何ともなりません。名古屋千種ロータリークラブの会員の皆様方や交通安全協会・老人クラブ・学区の役員の方、ひいては子供を持つ御父兄の方々のご協力が必要です。本日の受賞を機に区民の皆様方の安全を守るべき一層の努力をしてまいり所存であります。

◆川島名古屋千種消防署長挨拶



平素は、消防防災行政に格別のご支援、ご協力を賜り、深く感謝をいたします。

本市においては、一層安全で住みよい街にするため、火災の発生はもちろん、火災による焼死者を減らすため、一般住居にも住宅用火災警報器の設置をお願いしてお

ります。自分の家は絶対火事にならない。その自信を持ってもらわなくてはなりません、というっかり、をも防ぐことが可能な警報器の設置を一日でも早くお願いいたします。

昨年、愛知県内で発生した火災で亡くなられた方の8割が、この住宅用火災警報器を設置していませんでした。もちろん火災にならないことが一番ですが、もし火災になりそうになってしまっても、いち早く煙を感知し、近くにいる人に知らせることができ、消火はもちろん避難も早くできます。火災による被害を小さくするためにも、また、痛ましい犠牲者を1人でも少なくするためにも、警報器の重要性を認識していただければ幸いです。

また、大規模災害に備え、助け合い仕組みづくりを推進しております。こうした仕組みづくりは、行政が音頭を取らなくても、昔から近所付き合いの中で培われていたのですが、大都市といわれる地域では、希薄になっているといわざるを得ません。

阪神大震災から10数年たっていますが、名古屋市が地震に強い街になったとは言い難いものがあります。

自然災害は私たちの力で根絶はできませんが、災害によって生じる被害を減らすことはできます。引き続き、「自助」・「共助」の重要性について訴えていきたいと存じますので、皆様方には一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆永田消防第一課消防係長挨拶

只今は「優良職員表彰」という栄えある賞を賜り、心からお礼申し上げます。

大変光栄に存じますとともに、今後も職務に精励し、皆様の信頼にお応えすべく一層の努力をしていく決意を新たにいたしました。

平成7年に発生いたしました阪神大震災の教訓から、全国の消防機関が相互に援助する「緊急消防援助隊」が発足いたしました。

これは、国内で発生した大規模災害に対応し、迅速な人命救助活動が効果的に実施されるよう制定されたものです。

昨年12月にこの「緊急消防援助隊」の中部地区合同訓練が四日市市で実施され、千種消防署から愛知県の部隊をまとめる愛知県指揮隊として参加いたしました。

2日間にわたる訓練を通して私は各機関相互の連携や、それぞれ中心となる組織のリーダーシップの重要性を再認識いたしました。

今後、発生が危惧されております東海、東南海などの地震災害や、多様化する各種災害に備え、私どもが消防・防災の主管局としてのリーダーシップを発揮し、住民の皆様と日頃から連携、協力体制を整え、地域の安全・安心を確立して行くため、個人として微力ではありますが、力を注いで行きたいと思っております。

簡単ではございますが、千種消防署受賞者を代表いたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。